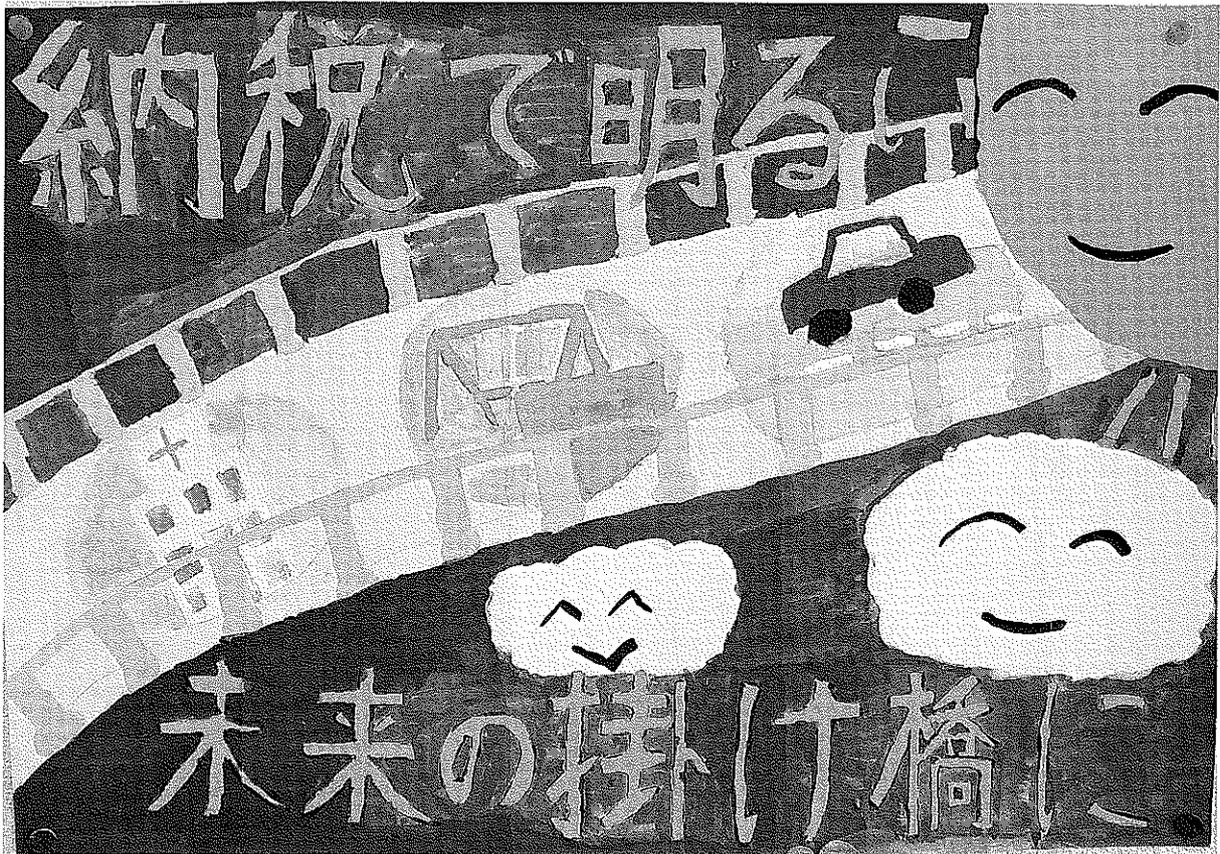


法人ニュース胆江

第9号 平成23年2月



2010 小学生による税のポスター展 金賞作品
奥州市立黒石小学校 6年 梅原優佑さん



社団法人胆江法人会

〒023-0818 奥州市水沢区東町4 TEL 24-3141 FAX 24-3148

URL <http://www.tankou.jp> Mail info@tankou.jp

2011年 経済景気展望

経済評論家
松本音彦

新年を展望して、これまでの難題はそのまま尾をひく状況である。

「失われた20年」が過ぎ、ようやく谷間にかすかな光が射しつつあるものの、まだ暗雲が晴れる段階ではない。

この暗雲を列挙しておく
と、デフレの長期化、失業率の高止まり、財政難、マイナスイ要因としての円高……、加えて内政の混迷、"外"では朝鮮半島をめぐる緊張。

いずれも、速効薬を欠く難題だ。

引き続き世界情勢のキーワードは、広範な分野にわたる「不均衡」。

これが(日本を含む)各国通貨の相場を攪乱させる。

国際的にもっとも大きい不均衡は、米国vs中国の通商関係の偏りで、中国の大貿

易黒字・米国の同大赤字↓
ドルの凋落の一因↓中国・人民元切り上げ圧力を生む。

周知のとおり、米国と中国は切っても切れない相互依存関係にあるが、両国の関係はときに緊張し、日欧はじめ各国の懸念要因になる。

残念ながら、G2と呼ばれる米・中2国の微妙な関係を本格的に調整できる国と経済圏は、まだない。

日本の場合には、政経両面でむしろ国際的地位を低下させ、中・露との領海問題に十分な対応をしかねている状態だ。

要諦は強力な戦略のあるなしだ

さて、足下の国内問題…

■デフレ長期化

デフレが終息するまでの期

間は長い(いわゆる「ロング・テイル」)。

物価を軸に対照的な現象ながら、インフレには強力な対策(利上げ・量的引き締め)があるが、デフレでは決め手を欠く(とくに成熟国では)。

超低金利策・過剰な量的緩和策をとつても、根底にある需要不足の解消に効かないことは見てきたとおり。

世相を暗くする第一要因の雇用悪化は、デフレ現象のなかでもっとも始末が悪い。

需要が委縮している限り、達成は至難である。

関連して、「成長戦略」不在論に触れておくと、問題は、一に強力な戦略のあるなしだが、あつてもそれが有効に作用するかどうかは別問題だ。

成熟国(端的に欧州諸国

だが、日・米もか)では、高成長はおろか、ここ半世紀の平均的成長も難しいのではと思われる。

ここで、あえて日本経済の低迷と政治の関係に一言。

確かに現内閣の対応は「弱い」が、現野党側が政権を担っていたとして、結果はそう変わらなかつたのでは、といえなくもない。

同じく、日本経済を今の姿にした責任の大半は「歴代」政権にあるのではないかと、という見方は、政局のカゲに隠れているが芯を突いていると思う。

■財政難

今や世界的で、欧州の弱小国のデフォルト懸念はその一端にすぎない。

余談だが、10年夏にギリシヤ・イタリア・スペインを歴

訪した知人によれば、ストがあつても巷の表情は意外に明るかつた由。

国家が破産状態に陥つてなお、人々はたくましく生きている。

今日、日・米もアイルランド問題などを他人事にみている場合ではない。

日本の累積赤字は862兆円、国民1人当たり約700万円。

政府査定で「均衡」は10年先。

米国もきびしく、州ではあるがGDPがカナダを上回るカリフォルニアの場合、歳入・歳出バランスの悪さはギリシヤ並みとされる。

現実が現実として、こういう状況が経済施策の足カセになり、筆者が賛同しかねる「政策偏向」をもたらす点が

問題だ。

本来の経済施策の2大柱の財政と金融で、財政策は「仇役」扱いになり、いわば片手運転の金融策(利下げと量的緩和)一辺倒になる。

結果は、「過剰流動性」現象——俗な表現ではカネのジャブジャブ状態を招く。

それでも効けばいいが、需要創出・雇用増にたいして効かない。知人の医師の話で、骨の劣化著しい人体にカルシウム剤などを投与しても、吸収される比率は微々たるもの。これに似ている。

確かに、世間に出回るカネの潤沢さは、ある程度、経済の七難を隠すだろう。

だが、日銀が「リート」(相場不動産投信)あたりを買い上げて放出したカネが、どこまで真に資金を必要としている分野に流れるか、?がつく。

一方、《政府の年金運営の苦しさ》vs大企業「内部留保」が約200兆円」という不均衡がある。

この「内部留保」の相当部分は当面の使い途がなく、

実上「デッド・ストック」化して

おり、その有効活用は官民双方が真剣に取り組むべき課題だろう。

なお、財政問題に本格的に切り込むには、「税制」の広範な改革が欠かせない。

が、仮に消費税だけで凌ぐとすれば同税率を25%以上に引き上げざるをえず、

「他の増税」を迫られる。そこで私案だが、財政支出から逃げずに、累積債務862兆円の数%に当たる約50兆円を「国内インフラ整備」に投入する策はどうか。

財源は、やり方次第(超長期「建設国債」の発行など)でなんとかなる。

とにかく、防災・防震面の国内インフラは疲弊していて、その整備は緊急課題だ(この点、米国も同様)。

投入する50兆円は即雇用増加につながり、景況に好作用を及ぼし、歳入増をもたらす。

昨今、官民挙げて「海外インフラ」にご執心だが、優先順位を誤ってはいけない。

ここで、最近、政府が「財政再建」一時棚上げ」のアドバルーンを掲げた点に注目。あとは、実施に踏み切る勇断次第だ。

さらなる悪化を回避し、収益好転へ

■円高

「ジャパン・パッシング」(日本軽視)がいわれて久しいなかでの円高は、まことに皮肉な現象だが、相手通貨の米ドル・ユーロの弱さの反映と理解すべき。

米ドルの場合、世界的な「ドル離れ」機運(ドル保有率を下げる動き)。

その代表が中国で、対米輸出で膨張するドル資産(米国債を含む)の割合をさらに増えないように抑えるは一過性ではない。

「相対的」安全度で「円」が「金」に準ずる地位に浮上した背景には、ベトナム戦争以来の「ドルばら撒き」が大きい。

それに、何年来いわれてき

た米国の「双子の赤字」(大貿易赤字・大財政赤字)が重なり、ドルの信用低下は基調化した。

破綻寸前のGMを再生させたように、米国の経済活力はまだ健在だが、通貨ドルの凋落は今後も尾をひく。

日本としては、この先、円高メリットを積極的に評価すべきである。

円安による利益増加は、真の国富の充実ではない。躍進・新興国、先進国に入るオーストラリアなど、「自国通貨高と経済成長を両立させて」おり、原理的にもコレが本道なのだ。

円高阻止のための「為替介入」は「少々」の効果はあるが、決定打にはならない。

第一、《世界の為替市場では1日に約4兆ドル(320兆円)のカネが動く》、そこに2〜3兆円投しても勝負にならない。

なお、各国が(目先の国際競争上)競って自国通貨安を志向する「通貨安競争」は、長期化に限度があるものの、

しばらくは続くだろう。

10年11月のG20サミットでも、この解消策は具体化しなかった。

こうした流れに関連して、新「バスケット通貨」構想(ゼーリック世銀総裁案では、ドル・ユーロ・円・ポンド・人民元の5通貨に「金を含める」)、が浮上してきたことに注目したい。

5通貨にする点は、ドル・リスクの分散。金を絡ませる点は、「ドルばら撒き」の抑制を狙ったもの。

■11年度企業収益の基本パターン

ターンの

まず、マクロ経済指標が(雇用を除き)緩やかに回復するが、企業収益はマクロ以上に好転する可能性が高い。その基調は「売上は横ばい、乃至微増にとどまるもの、コスト・ダウンを核に収益は売上げ増以上に、好転する」。

このパターンはデフレ・不況長期化過程での定型だが、さらなる悪化が回避される可能性を素直に評価したい。

長期化過程での定型だが、さらなる悪化が回避される可能性を素直に評価したい。

京のフロントの壁や結婚式場、それに六メートルもある階段の吹き抜けの壁を任された。狭土さんはここに青い土で宇宙を描き、金粉を吹き付けて、大空にまたたく天の川を表現した。

その翌年には前述したように、サミット会場となったホテルに 世界の首脳たちがくつろぐ部屋に国宝玉虫厨子を安置し、それを引き立たせるために正倉院の校倉作りを連想させる壁を造った。

こうして職人社秀平組はわずか十数名の小さな集団ではあるが、その表現力の豊かさにおいて、発注元の大手ゼネコンには欠かせない存在になっていった。

人は誰でもその人にしかない持ち味を授かっている。

企業規模の大小を問題にする必要はさらさらない。人は人、自分は自分だ。自分の本場で自分の能力を開花さ

せるよう努力したら、すごい仕事ができるようになっていくのだ。

「靴下がおれを選んだのだ」

現在では全国に二百九十店舗もの靴下専門店「靴下屋」を張り巡らせ、平成十二(二〇〇〇)年には業界で初めて上場するに至り、年商百六十億円を稼ぎ出している越智直正タビオ会長は、自分の仕事を天命と思つて切磋琢磨することの大切さを説く。

中卒で大阪に就職せざるを得なかつた越智さんは、学歴も親の七光りもなく、いつもグズだ、アホだと叱られてばかりだったので、自分で自分を励まし、奮起するしかなかった。

明治維新の三傑と言われた木戸孝允の次の漢詩はそのころ暗記したものである。
驚馬遅しといえども、積

載多ければ

高山大澤もまた過ぐるに

堪えたり

請う看よ、一掬泉巖の水

流れて汪洋、万里の波と

作るを

(愚鈍な馬だとしても、たく

さん積み、高い山も越え、大

きな川も渡ることが出来る。

よく見よ、わずかひと掬いの

水であつても、流れ流れて汪

洋とした大海となり、万里の

波となる。悲観することはな

い。奮起するのだ)

その越智さんは昭和四十

三(一九六八)年、二十八歳

のとき独立し、自分の会社(株

丹)を興した。

昭和六十二(一九八七)年

九月、四十八歳の越智社長

はアメリカの流通業界の視察

団に加わつた。

ニューヨークをはじめ、東

海岸の諸都市を回り、フロリ

ダ州のオーランドで視察が終

わり、デイナーショーにでか

その屋上に上つて見ると、

三六〇度どの方向を見ても

山が見えない、大パノラマが

広がつていた。

折しも金ダライのように

大きな夕日が大平原の彼方

の地平線に沈むところだ。

「オオッ！」と感動の声を

挙げて見入つていると、夕

日から光線が射ってきて、越

智社長に飛び込んできた。

「お前が靴下を選んだので

はない！ 靴下がお前を選ん

だのだ」

越智社長はどぎまぎした。

折しも韓国や台湾から安

い靴下が上陸し、日本の靴下

業界は倒産が相継ぎ、氣息

奄々という状態だつたのだ。

とはいえ、越智社長は自分

の会社を維持していくのに懸

命で、業界の行き先を考え

る余裕はなかつたのだ。

「そんなことを言われても。

おれより優秀な人材はいく

らでもあるじゃないですか」

下のことしか考えていない奴

はお前しかおらん！」

越智社長は覚悟を決める

しかなかった。

「これからは自分の会社だ

けではなく、日本の靴下業界

を背負つて立ちます」

これが越智社長の立志元

年となつた。一企業のこと

以上に、業界のことを考えて手

を打つようになった。そしてハ

ーバード・ビジネススクールが

ケーススタディに取り上げた、

店頭の売上情報を製造に反

映させるサプライ・チェーン・

マネジメントを作り上げ、文

字通り、靴下業界の救世主

になつた。

「驚馬といえども積載多

ければ……」と口ずさんで自分

を励まし、「靴下がおれを選

んだのだ」と奮起したればこ

そ、成し遂げることができた

偉業だつた。

すべては意図することから

始まる。心願を持つことほど

大切なことはないのだ。

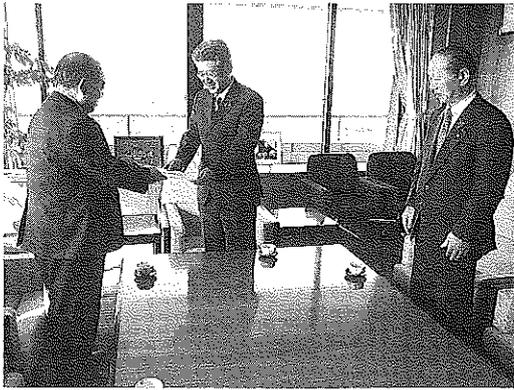
23年度税制改正に向けて要望活動!

法人税率の引下げと事業承継税制の確立を!

胆江法人会では、全国法人会総連合で決議された「平成23年度の税制改正に関する提言」に基づいて、要望活動を行った。

国・地方を通じて徹底した行財政改革の推進と、地域経済の担い手である中小企業の活性化に資する税制は欠かせないと、法人税率の引下げと事業承継税制の確立を最重要課題として提示している。

11月30日に、及川会長と奥州商工会議所佐藤常務理事が、地元選出の国会議員小沢一郎議員、小沢昌記奥州市長、渡辺忠奥州市議会議長に提言書を手渡し、要望活動を行った。



奥州市長 小沢昌記氏



奥州市議会議長 渡辺忠氏



衆議院議員 小沢一郎氏(秘書)

租税教室を実施

田原小学校

11月30日、奥州市立田原小学校において租税教室を行った。将来を担って立つ子供たちへ、税の役割や大切さを理解してもらおうと、租税教育活動の一環として青年部会が初めて企画し授業をした。

6年生14人へ、青年部会会員2名が講師となり、ビデオ上映やクイズ、現金1億円のレプリカに触れたりしながら、税金について楽しみながら勉強した。田原小学校の皆さん、どうもありがとうございました。



第一回 ボウリング大会

11月4日、ボウリングクオリアにおいて第1回会員親睦ボウリング大会を開催した。23チーム69名が参加し、団体の部はタカシユウAチーム、個人の部は及川竜彦さん(タカシユウA)が見事優勝した。第3位までは次のとおり。

〔団体の部〕

優勝 タカシユウAチーム

第2位 チクマ

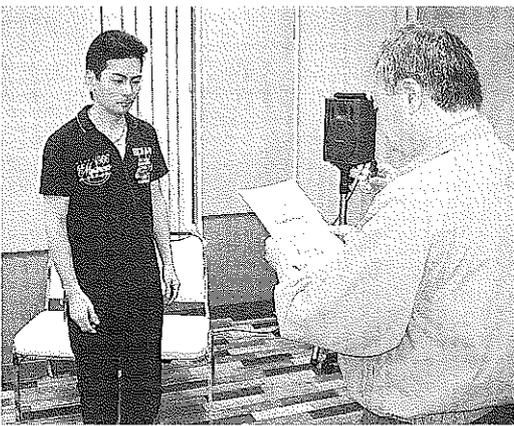
第3位 新星機械(有)

〔個人の部〕

優勝 及川 竜彦(タカシユウA)

第2位 佐々木孝治(タカシユウA)

第3位 郷右近新平(千葉建設)



国 税 だ よ り

水沢税務署

御社の社員の皆様への確定申告情報提供のお願い ～申告書の作成もできる国税庁ホームページのご案内～

国税庁ホームページ（www.nta.go.jp）には、「確定申告特集ページ」が開設されていますが、その中の「源泉徴収義務者の方へ」に給与所得者の皆様へのお知らせが掲載されています。最近では会社員の方でも確定申告をする方が増えており、そのような方に、申告書が簡単に作成できる「確定申告書等作成コーナー」のご案内をするものとなっています。

つきましては、御社の社員の皆様に次の方法で情報提供していただくようご協力をお願いいたします。

- ① 国税庁ホームページのトップページにある「確定申告特集ページ」のバナーをクリック
- ② 「源泉徴収義務者の方へ」をクリック
- ③ 給与所得者の皆様へのお知らせをダウンロード（7種類のデータの中からお選びください。）
- ④ 回覧、配布、メール配信、電子掲示板への掲載などの方法により、社員の皆様に情報提供

法人会会員のみなさまに

法人会の経営者大型総合保障制度 **企業保障プラン** 疾病重点型

生活障害保障型

◎大同生命の無配当歳満期定期保険（生活障害保障型）

万一の場合は
もちろん

所定の「生活障害状態」の場合に保険金をお支払いします!

生存中にお受取り

「生活障害状態」とは、生活障害保険金をお支払いする大同生命所定の「高度障害状態および要介護状態」をいいます。

たとえば、このような場合に生活障害保険金をお支払いします。



交通事故で
下半身不随
(高度障害状態)



咽喉がん
で声帯を全摘出
(高度障害状態)



脳梗塞の後遺症で
歩行・食事・入浴が
1人でできない
(要介護状態)



アルツハイマー病
による所定の
認知症
(要介護状態)

◎生活障害保険金のお支払い事由は、公的介護保険制度における要介護認定の基準や身体障害者福祉法による身体障害者手帳の交付基準等とは異なります。

◎死亡保険金と生活障害保険金は、重複してのお支払いはいたしません。

◎生活障害保険金の詳細については、「設計書（契約概要）」「重要事項のお知らせ（注意喚起情報）」「ご契約のしおり」「約款」をご覧ください。

◎この保険には配当金・満期保険金はありません。

◎この制度は法人会会員のみご加入いただける制度です。ご加入後に法人会を退会された場合、保険料率の引き上げ等のお取扱となります。なお、新規ご加入は保険金額3000万円以上、法人契約のみのお取扱となります。

◎この資料は平成21年3月現在の商品内容に基づいて記載しており、将来変更となることがあります。

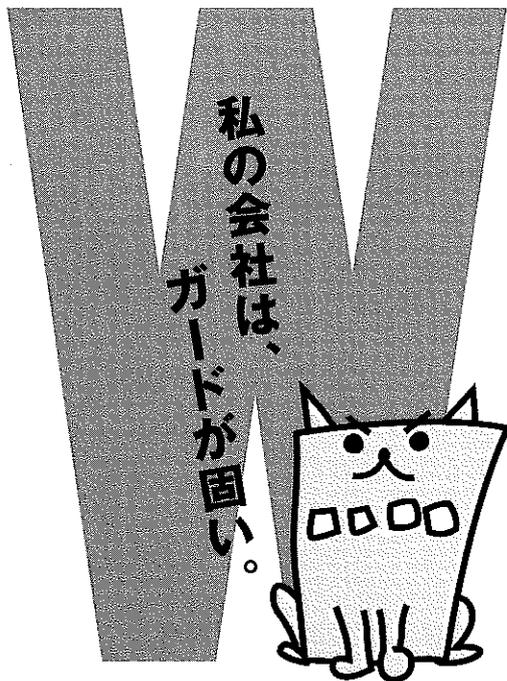
◎ご検討・ご契約にあたっては、「設計書（契約概要）」「重要事項のお知らせ（注意喚起情報）」「ご契約のしおり」「約款」を必ずご覧ください。

引受保険会社

DAIDO 大同生命保険株式会社

盛岡営業支社 県南営業所/奥州市水沢区東町4番地（ダイコー一巻番館3F）
TEL 0197-23-5619

F-20-1035①(平成21年3月9日)



定額+賠償の「ダブル補償」で、
万一の労働災害から企業経営を守ります。

定額補償 業務中のケガ等による入院や通院、万一の死亡、後遺障害を補償



賠償補償 死亡事故での法律上の損害賠償責任を1災害500万円まで補償※
※使用者賠償責任限定補償特約(死亡のみ補償)セット保険証券記載の保険金額が500万円の場合

さらに

高額賠償時代に対応!!

補償額をアップの上、死亡以外の業務上の身体の障害による
法律上の賠償責任も最高**1億円**※まで補償することができます。

※使用者賠償責任補償特約をセットした場合

法人金の[金員専用]アットワーク

ハイパー任意労災

業務災害総合保険

引受保険会社

AIU保険会社

エイアイユー インシュアランス カンパニー
〒130-8560
東京都墨田区錦糸1-2-4

お問い合わせ・
資料のご請求は今すぐ

0120-321-564

通話料
無料

受付時間 9:00~17:00
(土日祝日・年末年始を除く)

FAX

03-5619-2529

ホームページ

<http://www.aiu.co.jp>

このご案内は保険の概要をご説明したものです。この保険の詳細につきましては取扱代理店または弊社にお問い合わせください。
A-000178 2010年5月現在の内容です。ハイパー任意労災は、業務災害総合保険のペットネームです。

アフラックは
「がん保険」も
「医療保険」も
契約件数
No.1

(平成20年度「インシュアランス生命保険統計」より)

法人会
会員企業に
お勤めの
皆様には

お1人から
でも

集団取扱料率の
割安な保険料で
ご加入いただけます。



がん保険から
考えるならこちら

—法人会—

生きる気持ちに、本気で応える

がん保険
フォルテ
トータルケアプラン LOVE150

病気やケガから
考えるならこちら

—法人会—

もっと頼れる医療保険

新EVER
エヴァー

資料請求いただいたお客様の個人情報の利用目的は、①当社、その関連会社・提携会社の各種商品やサービスの案内・提供・維持管理、②当社業務に関する情報提供・運営管理、商品やサービスの充実となります。また、これらの利用目的のために個人情報が当社指定の代理店に提供されることにご了承ください。

■引受保険会社(お問い合わせ先)

「生きる」を創る。

Aflac アフラック
(アメリカンファミリー生命保険会社)

盛岡支社

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通2-9-1 マリオス13F
募集文書番号/A F法推-2009-0047-1101523 7月16日

法人会フリーダイヤル ☎ **0120-876-505**